

自己評価検証委員会
計量標準総合センター分科会 議事要旨

1. 日時： 令和4年3月11日（金） 13時00分～16時05分

2. 場所： オンライン会議（Teams）

3. 議事概要

(1) 領域の概要とマネジメント

(2) 領域の戦略と技術マップ

総合センター長 白田 孝

- 資料に基づき、領域より説明が行われた。その後、校正・試験サービスの実績、計量標準の普及活動、予算構成、標準化活動などについて質疑応答があった。

(3) 産総研の総合力を活かした社会課題の解決

- 持続可能な安全・安心社会のための革新的インフラ健全性診断技術および長寿命化技術の開発

分析計測標準研究部門 津田 浩

- 資料に基づき、領域より説明が行われた。その後、ドローン空撮によるたわみ計測、マグネシウム合金の熱物性評価などについて質疑応答があった。

(4) 経済成長・産業競争力の強化に向けた橋渡しの拡充

- ものづくり及びサービスの高度化を支える計測技術の開発

物理計測標準研究部門 島田 洋蔵

- バイオ・メディカル・アグリ産業の高度化を支える計測技術の開発

分析計測標準研究部門 石井 順太郎

- 先端計測・評価技術の開発

分析計測標準研究部門 石井 順太郎

- 資料に基づき、領域より説明が行われた。その後、中性子ビーム計測などについて質疑応答があった。

(5) イノベーション・エコシステムを支える基盤整備

- 標準化の推進：○ 水素の効率的利用を実現する計量システムの標準化

工学計測標準研究部門 大田 明博

物理計測標準研究部門 島田 洋蔵

知的基盤の整備：○計量標準の開発・整備・供給と活用促進

工学計測標準研究部門 大田 明博

知的基盤の整備：○計測技術を活用した適合性評価基盤の構築

物質計測標準研究部門 権太 聡

- 資料に基づき、領域より説明が行われた。その後、六フッ化硫黄を用いた温度目盛、シリコン単結晶球体の表面吸着水層厚さ評価、化学・材料データベースなどについて質疑応答があった。

(5) 全体質疑

- 全体の質疑応答を行った。NMIJ 萌芽研究加速費、論文数と外部連携数、標準化活動について質疑応答があった。若手育成の取り組み、with コロナでのオンライン開催と動画の活用が素晴らしいというコメントがあった。一方で、目標が達成できた・できなかったの二元化しがちな評価によってチャレンジングな要素が減ること、論文数が指標になることで論文の質が低下しうること、などへの懸念について言及があった。

(6) 委員討議

- 委員による討議が行われた。

(7) 主査からの講評

- 主査から講評が行われた。評価全体を通して、プレゼンが非常に分かりやすかったこと、動画による解説も分かりやすかったこと、長く続くコロナ禍においても非常に成果が上がっており目標以上に達成している研究開発成果が複数見られたこと、などの言及があった。一方で、論文数や達成目標にこだわらず失敗を恐れずにチャレンジする若手研究者を育成してほしい、チャレンジ度を評価できないか、などの言及があった。

4. 分科会委員（敬称略、委員五十音順）

金澤 秀子	慶應義塾大学 名誉教授（分科会主査）
神田 玲子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 副所長
高橋 哲	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
柳内 克昭	TDK 株式会社 品質保証本部 半導体解析センター

5. 配布資料

- 資料1－1) 資料一覧
- 資料1－2) 議事次第
- 資料1－3) 分科会出席予定者
- 資料1－4) コメントシート

資料2-1) 自己評価書コンテンツ

資料2-2) 要点資料

資料2-3) 説明資料

以上